

○地方創生拠点整備交付金事業に係る検証シート

<p><b>交付金対象事業の名称</b></p>	<p>高齢者を中心とした地域福祉交流拠点整備事業</p>	
<p><b>事業の概要</b></p>	<p>地域の住民が気軽に交流できる福祉拠点施設として活用してもらうことを目的として、町が寄附を受けた住宅（空き家）を改修し、新たに設置予定のカフェスペースを活用した認知症カフェを始めとした各種交流事業を実施する。運営にあたっては、吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、自治会、NPO、近くの小学校や学童クラブ、群馬県等と連携し、様々な交流事業を実施しながら地域の福祉拠点としての機能を充実させて、ボランティアの育成も図っていく。</p>	
<p><b>事業経費</b></p>	<p>事業費総額：27,283,057円 （事業費内訳）</p> <p>【改修工事費】17,683,416円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築改修工事 13,533,896円</li> <li>・電気設備工事 1,077,908円</li> <li>・機械設備工事 3,071,612円</li> </ul> <p>【駐車場整備費】2,495,152円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整地工事 1,076,922円</li> <li>・擁壁工事 1,418,230円</li> </ul> <p>【共通費（一般管理費）】4,980,104円</p> <p>【備品等設置費】855,457円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家具等 732,660円</li> <li>・家電等 122,797円</li> </ul> <p>【補助対象外経費】1,268,928円</p>	
<p>平成29年度 取組内容</p>		<p>取組結果</p>
<p>【空き家改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町が寄附を受けた空き家を改修し、カフェスペースを設置する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年11月15日 工事完了</li> <li>・平成29年12月 7日 本オープン</li> </ul>
<p>【交流事業実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気になるカフェ 毎週木曜日開催</li> <li>・ささえ隊会議</li> <li>・ケアマネ情報交換会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気になるカフェ 実施数：15回 利用者数：685人 開館時間：午前10時から正午まで</li> <li>・ささえ隊会議 実施数：1回 利用者数：30人</li> <li>・ケアマネ情報交換会 実施数：1回 利用者数：31人</li> </ul>

○地方創生拠点整備交付金事業に係る検証シート

重要業績評価指標	基準値	平成29年度末 目標値 (増加分)	平成29年度末 実績値 (増加分)	平成30年度末 目標値 (増加分)	平成31年度末 目標値 (増加分)
地域福祉交流拠点 施設利用者数 (人)	0	500	746	500	500
交流事業実施数 (回数)	0	33	17	33	34
ボランティア登録 者数 (人)	142	3	5	5	5
<b>KPI未達成 の理由</b>	<p>空き家改修について、当初の設計のとおり建築物を一部解体したところ、想定以上に構造体がシロアリと経年劣化による痛みが激しく、工法の変更が必要となったため、工期が延長となった。予定していたオープンの時期が遅くなってしまったため、当初の計画どおりの交流事業実施数が達成できなくなってしまった。</p>				
<b>事業の課題 /今後の取組</b>	<p>施設を活用した事業として、来年度からこども食堂を実施し、給食がない夏休みに、昼間仕事や介護等で保護者のいない孤食児童に対し、食事を提供する。また、更なる利用者増を目指すため、開館時間の変更の検討や小学校、学童クラブ等と連携して、地域の福祉交流施設としての機能を高めていきたいと考えている。</p>				
<b>事業の評価</b>	<p>地方創生に有効であったが、事業期間が短く、効果を把握できないため、経過観察</p>				
<b>外部有識者による 意見・記述欄</b>	<p>今後も交流事業開催日数及び高齢者等の受け入れ人数を増やしていくようにされたい。 現在は施設の維持費を町の財政から支出しているようだが、今後については経営的な要素（一定の受益者負担等）も取り入れていくことも含め検討されたい。 また、施設の近くに住んでいる方は利用するのに不便はないが、遠くに住む方は利用し辛いと思われるので、お住まいの場所如何を問わず、どなたでも利用しやすくなるよう改善されたい。</p>				